

平成30年度 横浜市美しが丘東小学校「交通バリアフリー教室」の実施報告

はじめに

- 国土交通省関東運輸局神奈川運輸支局、一般社団法人神奈川県タクシー協会、及び神奈川都市交通株式会社と連携し、横浜市立美しが丘東小学校で「交通バリアフリー教室」を実施しました。
- 美しが丘東小学校は、最寄りのたまプラーザ駅から約500mの位置にあります。*ユニバーサルデザインタクシーや福祉タクシーを知っている・見たことがあると答えた子どもは、多くはなくとも一定数いるようでした。
※健康な人も体の不自由な人もみんなが利用できる新しいタイプのタクシー

1 交通バリアフリー教室の全体概要

- 交通バリアフリー教室は、横浜市の担当する「交通バリアフリー」に関する座学とともに、実際の福祉車両や車いす等を使った体験プログラムが行われました。
- 美しが丘東小学校では、タクシー事業者である神奈川都市交通株式会社の協力のもと、ユニバーサルデザインタクシー及び福祉タクシーを利用した体験を行いました。
- また、校庭にあるスロープや階段、段差を利用して、車いすや視覚障害者の体験用のコースをつくり、実際に車いす、視覚障害者の疑似体験学習を行いました。
- 横浜市は、交通バリアフリーに関する座学を担当し、タクシー及びバスのバリアフリーの現状を伝えるとともに、モビリティマネジメントの大切さを伝えました。



全体説明



ユニバーサルデザインタクシー乗車体験



福祉タクシー乗車体験



車いす利用体験・介助体験



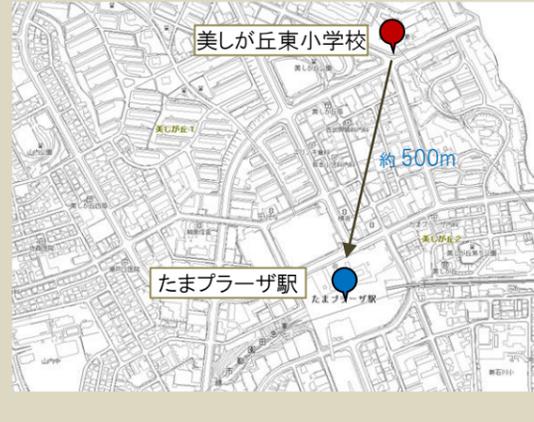
視覚障害者体験



交通バリアフリーに関する座学

■交通バリアフリー教室について

- 【日時】平成30年11月26日(月) 第2～4校時(10:00～12:15)
- 【対象】美しが丘東小学校 5・6年生 合計4組(139人)
- 【内容】①ユニバーサルデザインタクシー、福祉タクシーの乗車体験
②車いす利用体験・介助体験
③視覚障害者体験
④タクシー及びバスのバリアフリーに関する座学

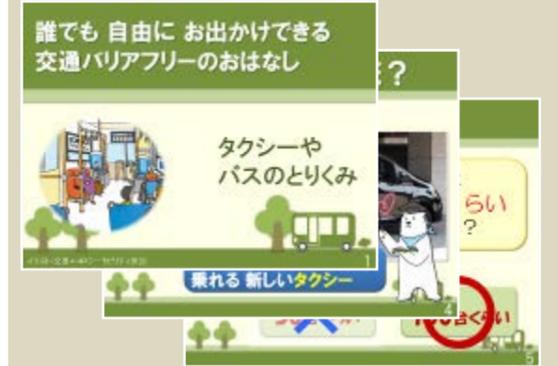


2 「誰でも自由にお出かけできる 交通バリアフリーのおはなし」の内容

- 「交通バリアフリーのおはなし」と題して、座学を行いました。車いすの方もお年寄りも、誰もが使いやすい交通サービスを目指して取り組んでいるバリアフリーの現状を中心に授業を行いました。
- 体験したユニバーサルデザインタクシー及び福祉タクシーのこと、バリアフリー対応のバスのことを、クイズや質問も交えながら説明しました。
- また「バスやタクシーを含む公共交通の現状と、そんな公共交通が将来無くなってしまおう」可能性もあることを、マンガリーフレット等を用いて伝えました。
- 「公共交通がもし無くなればどんな人が困るか」、「それを防ぐためにはどうすればよいか」について、子どもたちに考えを述べてもらいました。
- 「行き先や状況に応じて公共交通を上手に使って暮らす」、「車いすの人も気軽に使えるようにお手伝いしてあげる。」ことが大切であること、そのために今できることをしようと伝え、授業を終えました。

■座学に用いた教材

①説明用パワーポイント



②小学生向けマンガリーフレット



おわりに

- 今回の交通バリアフリー教室を経験して、車いすで移動することの大変さ、目の見えない人が感じている不安とともに、移動に係る介助の難しさ、大変さを肌にした子どもたちがたくさんいました。
- 子どもたちが、これからもバスやタクシーなど公共交通を上手に使い、困っている人がいたらサポートするきっかけとなる「交通バリアフリー教室」となりました。
- タクシー運転士さんに積極的に質問しながら、バリアフリーの事だけでなく、タクシーの様々なことを学び、子どもたち自身もいつも以上に公共交通のことを身近に感じてくれた1日になったと思います。



校庭や体育館の構造を利用し、車いす体験や視覚障害者体験のためのコースを作り、全員の子どもたちが体験しました。普段は何気なく乗り越えられる段差や階段も、車いす利用者や視覚障害者には大きなバリアとなります。子どもたちは、介助の大変さ、車いす等の不安を感じていました。



ユニバーサルデザインタクシーだけでなく、座ることもできない人でも利用できる福祉タクシーも用意されました。実際に寝た状態でリフトアップされ、子どもたちも驚いていました。